

平成22年度 温室効果ガス排出量等の結果

活動項目	基準	(基準に対して毎年1%削減 2007年度-2012年度まで6%削減)				目標年 2012年度 (平成24年度) (参考)	備考	
		2007 (平成19年度) 1%削減	2008 (平成20年度) 2%削減	2009 (平成21年度) 3%削減	2010 (平成22年度) 4%削減			
<b>【温室効果ガス排出量】</b>		( )数字は目標値 (単位:t-CO <sub>2</sub> )						
電力使用量	2,070.00	実施 (基準に比較して)	(2,040.00) 1,834.00	(2,028.00) 1,692.00	(2,008.00) 1,407.00	(1,987.00) 1,514.00	(1,945.00)	
		率	-236.00	-378.00	-663.00	-556.00		
上記小水力発電効果	-		-	-23.00	-294.00	-300.00		平成21年3月稼働
公用自動車燃料使用量	10.20	実施 (基準に比較して)	(10.12) 9.60	(10.00) 9.64	(9.91) 8.94	(9.81) 7.96	(9.60)	
		率	-0.60	-0.56	-1.26	-2.24		
空調燃料の使用量	10.84	実施 (基準に比較して)	(10.73) 7.59	(10.62) 6.78	(10.51) 7.79	(10.41) 13.01	(10.19)	
		率	-3.25	-4.06	-3.05	2.17		
通勤車両の燃料使用量	( )目標値は 6%値		(13.25)	(12.72)	(10.05)	(11.32)	(9.95)	
	H19 14.10	実施 (基準に比較して)	12.80	12.07	9.05	10.37		
	H20 13.53	率	-1.30	-1.46	-1.64	-1.67		
	H21 10.69 H22 12.04	率	-9.22%	-10.79%	-15.34%	-13.87%		
総排出量	H19 2,105.14 H20 2,104.57 H21 2,101.73 H22 2,103.08	(基準に比較して)	1,863.99	1,720.49	1,432.78	1,545.34	(1,974.74)	
	率	-241.15	-384.08	-668.95	-557.74			
		率	-11.46%	-18.25%	-31.83%	-26.52%		

【温室効果ガスの削減に間接的に効果のある事】

グリーン商品の購入	100%	100%	100%	100%	100%		
紙使用量(枚)	115,000	(113,900) 118,000	(112,700) 126,000	(111,600) 99,000	(110,500) 107,000	(108,300)	
	基準値	(基準に比較して)	3,000	11,000	-16,000	-8,000	
		率	2.61%	9.57%	-13.91%	-6.96%	
ごみの減量化	100%	100%	100%	100%	100%		
汚泥ケーキの有効利用	100%	100%	100%	100%	100%		

【温室効果ガスの吸収】

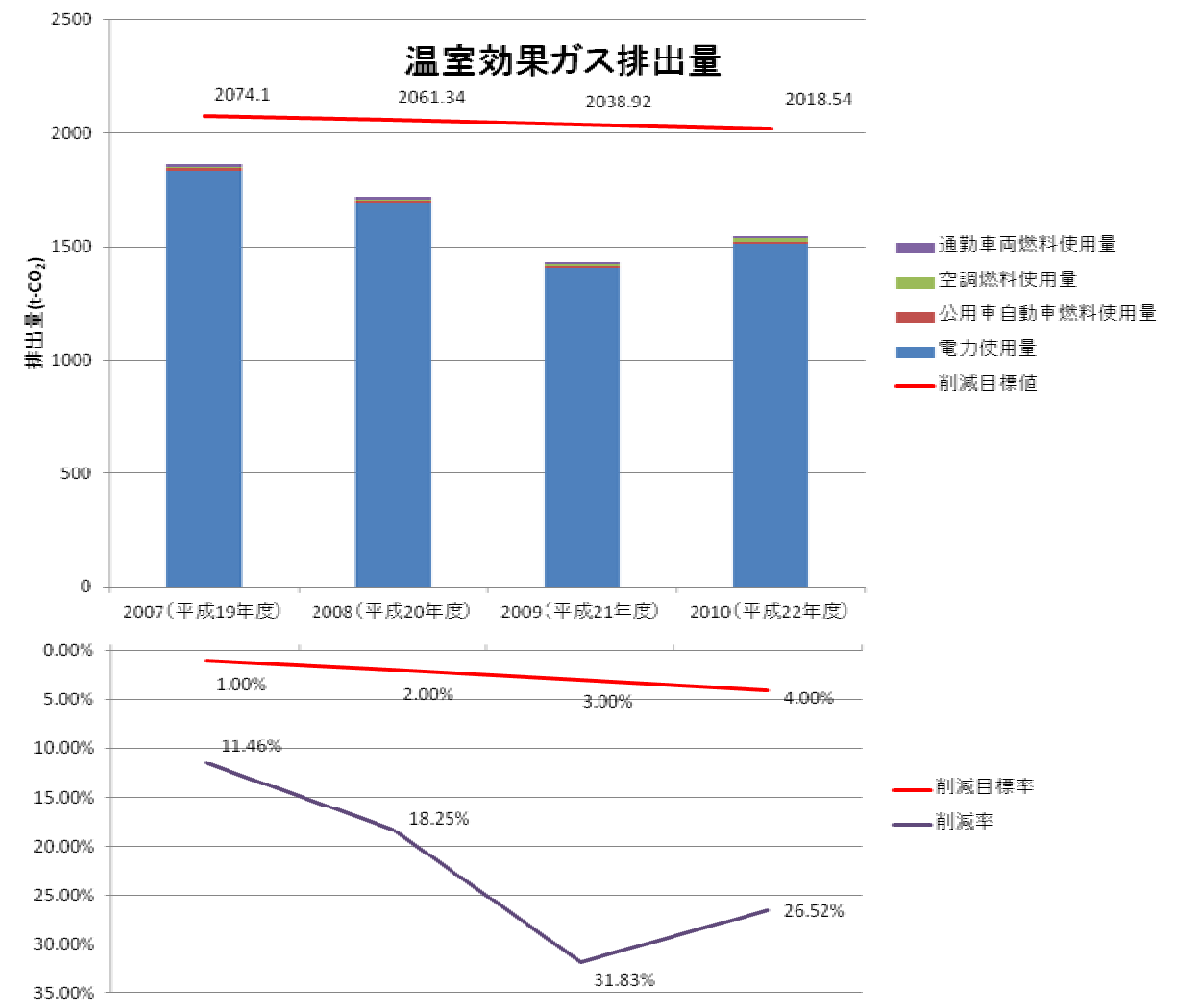
森林の管理・植林	0.00	14.14	143.39	276.02	408.05	(71.25)
----------	------	-------	--------	--------	--------	---------

【地球温暖化防止のための啓発に関する事】

提言会議の開催	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
環境ボランティアへの参加	2.0	0.25	2.5	2.8	1.6	

結果 2007年度(平成19年度)は、基準から比べて総搬出量が238.3 t-CO<sub>2</sub>減少( 11.34%)  
 2008年度(平成20年度)は、基準から比べて総搬出量が385.76t-CO<sub>2</sub>減少( 18.31%)  
 2009年度(平成21年度)は、基準から比べて総搬出量が668.95t-CO<sub>2</sub>減少( 31.83%)  
 2010年度(平成22年度)は、基準から比べて総搬出量が557.74t-CO<sub>2</sub>減少( 26.52%)

人事異動で通勤距離の変更により基準値及び目標値の変更



結果概要

・基準年度と比べて総排出量が557.74t-CO<sub>2</sub>減少( 26.52%)

<主な事>

・電力量の減少は、第1浄水場小水力発電の計画どおりの稼働による効果大きい。(約20%)

ただし、平成21年度と比べ平成22年度の電力使用量の増量は、平成21年度は例を見ない暖冬と少雪が重なり春先から給水制限をしたことから送水量の減少により電力量も減少した。平成22年度は、計画とおりに送水。